



学校教育目標 私は変わる みんなと変わる 未来を変える
～あったかランド 神岡笑楽校～

今日は、日本で初めて女性が大臣になった日です。
(1960年の今日、衆議院議員の中山マサが、厚生大臣になり、日本初の女性大臣が誕生しました。)

神岡小学校コミュニティ・スクール通信
【No.15】令和6.7.19(金)発行
本校は今年度から、コミュニティ・スクールとしてスタートしています。

明日(20日)から夏休み 安全で充実した夏休みにしましょう!

今日で前期前半が終わりました。今年度本校は、平和中学校とともにコミュニティ・スクールとしてスタートし、「地域とともにある神岡小学校」の実現のため、そして、学校教育目標「私は変わる みんなと変わる 未来を変える ～あったかランド神岡笑楽校～」のもと、子どもたちの安全・安心を基盤に、一人一人がよさを発揮しながら互いを認め合い、共に高まっていくことができるよう、日々の教育活動に取り組んできました。そして、大きな夢やチャレンジ精神を育み、将来ふるさとを支えていこうとする高い志をもった人材の育成につなげたいと考えてきました。これまでの本校教育活動への温かいご支援に感謝申し上げます。

今日行われた「夏休みを迎える会」では、2年生の〇〇〇〇さんと5年生の〇〇〇〇〇さんが、前期前半に頑張ったことや夏休みの抱負等を立派な態度で発表することができました。一部抜粋して紹介します。

〇〇 〇〇さん(2松)

夏休み前頑張ったことは二つあります。一つ目は、生活科の勉強です。宝蔵寺、だけっこ園、神岡図書館へ行きました。特に楽しかったのは、だけっこ園です。懐かしい友達と一緒に遊んできました。先生たちにも会うことができました。とても嬉しかったです。園の子もたちが何人いるのか質問してきました。また行きたいと思いました。二つ目は国語です。国語では、新しい漢字の書き方を頑張りました。書き順や形に気を付けて書くようにしました。基礎テストでも頑張ることができて嬉しかったです。

夏休みは、空手で全国大会があるので、緊張に負けず、練習したことを生かして頑張りたいです。ドキドキしています。気合いを入れて練習したいと思います。

〇〇〇 〇〇さん(5松)

私が夏休みに頑張りたいことは三つあります。一つ目は勉強です。夏休み前にたくさんのことを学習しましたが、特に、社会と理科の復習を頑張りたいです。二つ目は和太鼓クラブです。私は今年和太鼓クラブに入りました。はじめは、うまく叩けるか心配でしたが、練習を繰り返すうちに楽しくなってきました。正しいリズムで音に強弱をつけながら演奏できるよう頑張りたいです。三つ目はスクールバンド部です。10月と11月に演奏会があり、私は今、初めてドラムを担当しています。足と手で別々のリズムを刻むのがとても難しいですが、演奏会で納得のいく演奏ができるよう、練習に励みたいです。和太鼓もドラムも私にとって初めての挑戦です。緊張はもちろんありますが、それを超えるほどのわくわくがあります。二つの挑戦を通して、将来の自分に役立つものを身に付けたいです。

明日からは夏休みです。子どもたちの安全・安心確保のため、学校では次のようなことを指導しております。ご家庭でも定期的に話題にし、子どもたちの安全への意識を高められるようお願いいたします。

(1) 交通事故防止のために

- ・飛び出しを絶対にしない。
- ・横断歩道を渡るとき、青信号であっても安全確認を徹底する。
- ・自転車使用時のルールを守る(ヘルメット着用は努力義務)。

(2) 水難事故防止のために

- ・水路や河川等の危険箇所には近づかない(魚釣り等は大人と行く)。

(3) 不審者による事故の防止のために

- ・声かけ及び追尾事案があった場合は、大声で助けを求めるとともに、近くの民家や商店等に駆け込み、保護を求める。
- ・二次被害防止のために、不審者を見かけた場合は、保護者や学校、警察に迅速に通報する。

(4) タブレット端末の使い方について(小3以上)

- ・学習や学校での活動に関係があることだけに使う。
- ・人を困らせたり傷つけたりする行為は絶対にしない。
- ・個人情報や公開しない(不安なことがある場合は保護者に相談)。
- ・ルールや時間を決め、健康に留意して使う。

事故や不安なこと(タブレット端末の紛失・盗難も含む)等、何かありましたら、休日でも(その日のうちに)学校または担任へ連絡を!(連絡がつかない場合は、管理職へ)

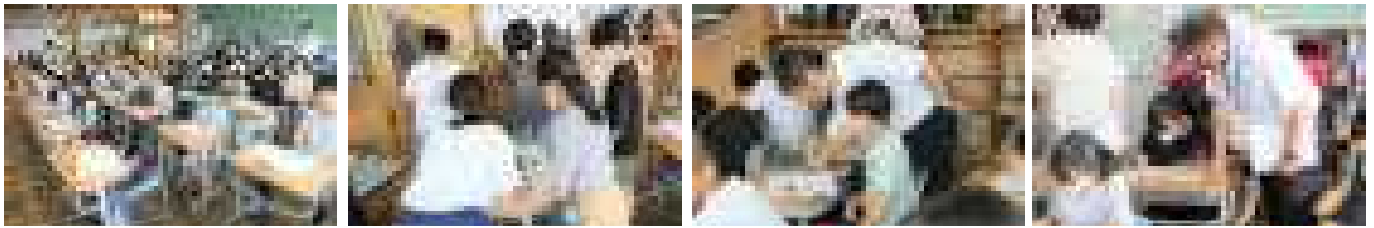
神岡小 72-2222 ※8/11~15は学校閉庁です。

6年松組 算数研究授業 (7/16) 複数教員による授業について研修を深めました

子どもたちへのよりきめ細かな指導を可能にするために、本校には、国から週当たり11時間程度の授業を担当する教員が加配されています。そのおかげもあり、**算数や理科、外国語で複数教員による授業が可能**になっています。今回は、その加配教員を生かすための授業の在り方について、南教育事務所の〇〇〇指導主事から、**6松の算数の授業**をモデルにご指導をいただきました。

子どもたちは、本時の課題や目指すゴールについて確認し、グループで話し合ったり、学んだことを生かしながら練習問題等に取り組んだりしていました。また、この日の授業は、**等しい比をつくれるようになることがねらい**でしたが、子どもたちは、ソースの味を変えないで学級全員分のソースをつくることをイメージしながら、意欲的に取り組んでいました。

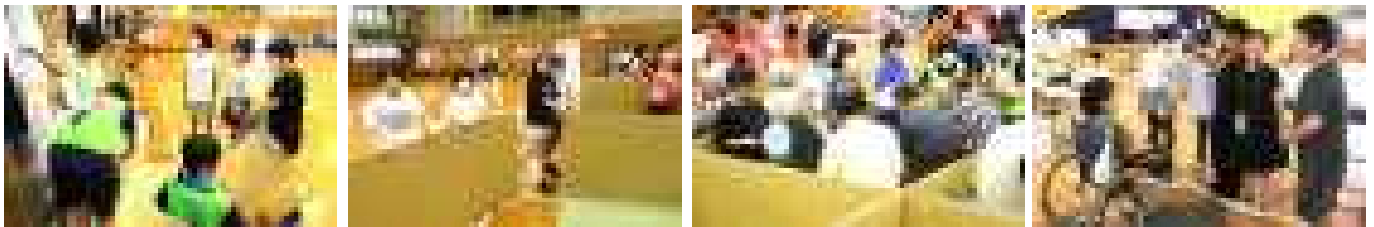
授業を複数教員で行うことのよさとして、子どもたちからは「**アドバイスをもらいやすい**」「**分かりやすい**」「**楽しい**」等の声が多く聞かれます。今回ご指導いただいたことを全職員で共有し、子どもたち一人一人が学びの充実感や「分かる」「できる」手応えを感じられる授業を目指し、引き続き、研修を深めてまいります。



5年生平和中の避難所開設訓練に参加 (7/11) 防災について学ぶ貴重な機会となりました

この訓練には、毎年本校の5年生が参加させていただいております。今回は、直下型の強い地震が発生し、避難所である平和中学校体育館に、地域住民（小学生を含む）が避難してきたという想定で行われました。中学生は、避難者の受付や誘導、避難スペースの設置などを手際よく行っており、参加した小学生にとって、貴重な学びの機会になりました。

今月9日と10日には大雨のため、本校も避難所になりました。災害はいつ起こるか分かりません。この訓練で学んだ「**自助、共助**」の大切さを忘れずに、いざというときの適切な行動につなげたいものです。



平和中へ被災地支援うちわを届けました (7/18) 全校児童が心を込めて作りました！

神岡地域では、東日本大震災の被災地（岩手県大槌町）と交流を続けています。その一環として、今年度も、夏の暑さを少しでも和らげてほしいという思いを込め「手作りうちわ」を作成しました。

7月18日に、児童会代表の〇〇 〇〇さんと〇〇 〇〇さんが平和中を訪問し、生徒会代表にお届けしてきました。被災地の皆さんも、この支援うちわを毎年楽しみにしており、今回もきっと、喜んで使ってくださいるものと思います。



【子どもたちが作ったうちわを紹介します】

